埼医業Ⅲ発第１４５４号
令和７年９月１２日

各郡市医師会長　　殿

埼玉県医師会長　金　井　忠　男
（担当常任理事　　髙　木　　学）
（公印省略）

令和７年度第１回埼玉県医師会小児救急医療研修会の開催について（通知）

平素は当会の小児医療事業につきまして、多大なご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、埼玉県からの委託事業として、小児救急に対応する医師の養成と充実を目的に、下記のとおり研修会を開催することになりました。

昨年に引き続き「こどもの救急診療に携わる際に知っておきたいミニマムエッセンス」をテーマとして、小児科医に限らず、休日・夜間における初期の小児救急医療に対応する医師や通常診療で小児を診療する可能性のある医師等、すべての医師を対象にした研修会です。

つきましては、貴会管下会員・医療機関へご周知いただきますようお願いいたします。

なお、参加申し込みにつきましては、下記の URL または QR コードから各個人でのご登録をお願いいたします。

記

１．日　時　　令和７年１０月１８日（土）１４時００分～

２．場　所　　埼玉県医師会５Ｆ大会議室　（ハイブリッド開催）

３．参加登録　　URL または QR コードから各個人でご登録をお願いします

登録 URL　https://bit.ly/4m5kPHv　　QR コード

４．参加対象　　埼玉県内の小児医療に携わる医師
（診療科目は問いません）

５．内　容　　別添プログラムのとおり

６．その他　　日医生涯教育講座 1.5 単位 CC：15．臨床問題解決のプロセス、17．急性中毒、30．頭痛

担当　業務課業務Ⅲ担当　渡邊
電話　０４８－８２４－２６１１
e-mail　watanabe@office.saitama.med.or.jp

令和７年度　第１回　埼玉県医師会小児救急医療研修会

日時　令和７年１０月１８日（土）１４時００分～
場所　埼玉県医師会　５階 大会議室（ハイブリッド開催）
進行　埼玉県医師会理事　佐藤 達也

１．開　会
２．挨　拶　　埼玉県医師会常任理事　髙木 学
３．研　修
テーマ『こどもの救急診療に携わる際に知っておきたいミニマムエッセンス２』
座　長　　埼玉医科大学総合医療センター
小児科教授　　井上 信明 先生

Ⅰ.「こどもの common disease を少し科学的にみる」　(14:05～14:45)

こどもの救急患者の多くは、いわゆる common disease です。その多くは、特に科学的根拠に基づく診療をしなくても問題はありませんが、少しだけでも背景を知っておくと、保護者への説明に幅が出ます。少し科学的にみるための情報を共に学びます。

講　師　　埼玉医科大学総合医療センター
小児科教授　　井上 信明 先生

Ⅱ.「主訴別：見逃してはいけない病態シリーズ２」　(14:45～15:25)

昨年の「発熱」「咳」「嘔吐」に続き、よくあるこどもの主訴のうち、「頭痛」「咽頭痛」「腹痛」の３つの主訴を中心に、見逃してはいけない重篤な病態や疾患を見逃さないようにするために、確認すべき病態や身体診察のポイントを解説します。

講　師　　済生会川口総合病院
小児科部長　　大山 昇一 先生

（休憩　10 分）

Ⅲ.「専門医でなくてもできるこどもの外因性疾患」　(15:35～16:15)

昨年の外傷診療に続き、年少時から思春期のこどもに見られる外因性疾患として、中毒診療について解説します。この中毒には、処方薬や市販薬などの「薬」だけでなく、家庭で使う生活用品も含まれます。それぞれの初期対応や受診すべきポイント等を解説します。

講　師　　東京都立小児総合医療センター
救命救急科医長　岸部 峻 先生

４．閉　会

※日医生涯教育講座 1.5 単位　CC:15. 臨床問題解決のプロセス　17. 急性中毒　30. 頭痛